

概観

【政治・社会】

- ・医療制度改革が反対運動のため進展していないことを受け、保健大臣が辞任。
- ・相撲連盟会長が再逮捕。

【経済】

- ・前月に引き続き輸出が好調を維持しており、経済回復を牽引。失業率も7ヶ月連続で回復傾向。2011年予算案が取り纏められ、29日に政府に提出された。

この月報はブルガリア各種メディアの報道ぶり等を取りまとめたものであり、在ブルガリア日本大使館の意見や判断を反映するものではありません。

政治・社会

1. 内政

◆ボリソヴァ保健大臣辞任：

医療保健改革難航

- ▶29日、ボリソヴァ保健大臣が、医療分野の諸改革（地方病院の閉鎖・統合等の合理化）が、医療関係者によるストライキや市民の反発のため、なかなか進展しないことの原因を負い、辞任した。
- ▶翌30日、ボリソフ首相は、コンスタンティノフ医師会副会長を新保健大臣に指名する方針であると述べた（10月同人が大臣に就任）。昨年新政府発足後保健大臣はこれまで2度交替している。

2. 外政

◆ボリソフ首相：温家宝中国国務院総理と 会談

（23日）

- ▶ボリソフ首相は第65回国連総会に出席した際、温家宝国務院総理と会談した。首脳会談後、ボリソフ首相は記者団に対し、ブルガリアに中国産品の常設展示場や経済特区を設けることについて協議した旨述べ、中国の投資はブルガリアを経済危機から救い出すものとの期待を表明した。

◆バセスク・ルーマニア大統領：ブルガリア 訪問

（23日）

- ▶パルヴァノフ大統領との会談では、共にシェンゲン・ゾーン加入へ向け協力することで一致した。
- ▶また、昨今のロマ問題が両国のシェンゲン・ゾーン加入問題と関連付けられるべきではない、との立場でも一致した。
- ▶他にドナウ河水力発電所建設（ニコポル・シリストラ間）等について協議された模様。また、「バ」大統領は記者団に対し、2011年6月迄にはDanube Bridge 2のルーマニア側の建設が完了するとの見通しを述べた。

◆ツヴェタノフ副首相兼内相：シェンゲン・ ゾーンへの加入は明年春

- ツヴェタノフ内相は、ブルガリアはハンガリーがEU議長を務める明年前半（3月頃）にシェンゲン・ゾーンへの加入を果たす予定であると述べた。

3. 社会

◆意識調査結果：対米・対EU・対露意識

（トランス・アトランティック・テンデンスーズ社調べ）

- ▶対米：ブルガリア人の42%が米国の国際社会における力強いリーダーシップを支持、69%がオバマ米大統領を支持している。また、60%が

ブルガリアの安全保障上、NATO加盟は必要不可欠であると考えている。

▶対EU：89%がEUに好意的な感情を抱いていると答えている。また40%がEU加盟国であることはブルガリアに経済的な利益であると考えている。一方で、42%がユーロ貨導入はよい影響をもたらさないと考えている。

▶対ロ：ロシアに対しては、87%が好き、と答えており、また66%が同国の国際的パワーは今後伸長していく、と考えている。

経済

1. マクロ経済

◆GDP

30日、統計庁は2010年第2四半期における経済成長率（四半期毎）が、経済危機に陥って以降初めてプラス成長（1Q：-0.5%→2Q：0.5%）に転じた旨を発表した。2009年第4四半期は-0.2%、2009年第3四半期は-0.1%だった。

◆2011年予算案

29日、政府は2011年の国家予算案を承認した。同案によると、2011年のGDP成長率は対GDP比3.6%、財政赤字は対GDP比-2.5%（約19.6億レバ）を見込んでいる。翌週より議院に提出される見通し。

◆インフレーション

14日、統計庁は2010年のインフレ率が2.7%となる見込みである旨を発表した。

◆失業率

27日、ムラデノフ労働・社会大臣は失業率が9.07%まで減少している旨を発表した。2月の値（10.27%）より7ヶ月連続減少している。

◆対外・国内債務

21日、政府は8月末時点の対外債務高（約66億レバ）及び国内債務高（約32億レバ）を発表。総額（約98億レバ）は対GDP比14.4%に当たる。

◆外国直接投資の減少

◆組織犯罪対策：ストヤノフ相撲連盟会長の再逮捕

保釈中だったストヤノフ・ブルガリア相撲連盟会長が組織的殺人への関与の疑いで再度逮捕された。90年代中頃の債務のトラブルが元で2005年に起こった銀行家殺害事件に関与した疑い。

15日、ブルガリア中央銀行は、2010年のFDIが対前年比62%減少する見込みである旨を発表した。前年同期の額が19.32億ユーロであったのに対し、現時点の額は731百万ユーロに留まっている。

◆対EU貿易

▶12日、統計庁の発表によると、2010年1月～6月までの対EU輸出高は対前年比17.4%増で8億レバ、輸入高は同2.8%増で約10億レバを記録。

▶EU諸国の主な貿易相手国は、ドイツ、イタリア、ギリシャ、ルーマニアであり、右諸国のみで対EU貿易全体の62%を占める。

2. エネルギー関連

◆NEK

23日、国家エネルギー・水調整委員会（SERWC）は、7月に発生した2度の大規模停電の原因はNEK（国営電力会社）が投資すべき送電線の容量増大に資金を注入せず、Tsankov Kamak HPP、ベレネ原子力発電事業に投資していたことであると発表した。これに対し、NEKはGalateya及びAheloi送電線の容量増大に向けた工事を行うことに同意した旨を発表。

3. 産業

◆業況判断指数

29日、統計局は、主要4部門（建設、産業、サービス、小売）における業況判断指数が前月に比

べ1. 2ポイント減少している旨発表。

4. その他

◆Kremikovtsi 製鉄所入札

13日、Kremikovtsi 製鉄所にかかる入札が実施されたが、入札者がなく不成立に終わった。日程を調整し、11月に再度実施予定。

◆アンゲロフ経済副大臣、訪中国ミッション

14日、8日から7日間中国を訪問していたアンゲロフ経済・エネルギー・観光副大臣は、浙江省知事との間で、Bouzhorishte（ソフィアより西へ3KM）に近く建設される予定の工業地区に関するジョイントベンチャーの設立に係る同意に至った旨述べた。

◆ユーロスタットの統計庁監査

23日、ユーロスタットミッションはブルガリア統計局が作成した財政赤字に関する国家統計を検査すべく来訪した。これは、2009年の財政赤

字額が当初発表から大幅に変更されたことに端を発している。ブルガリアはユーロスタットの検査を受ける最初の対象国となった。

◆IMFミッションの来訪

23日、IMF定期ミッションがブルガリアを訪問、10月4日まで滞在し、政府関係者、ブルガリア中央銀行、民間企業、NGO団体等とブルガリア経済政策等に関して議論する予定。

◆ソフィア＝カロティナ自動車道路

24日、プレブネリエフ地域開発大臣は、2013年までの建設を計画している「ソフィア＝カロティナ自動車道路」の建設費4億ユーロがEUファンドの交通オペレーションにより充当される旨、発表した。

◆第66回国際技術見本市の開催

27日、ブルガリア中部プロブディフ市にて第66回国際技術見本市が開幕し、41ヶ国、1573社が同イベントに参加した。

=====

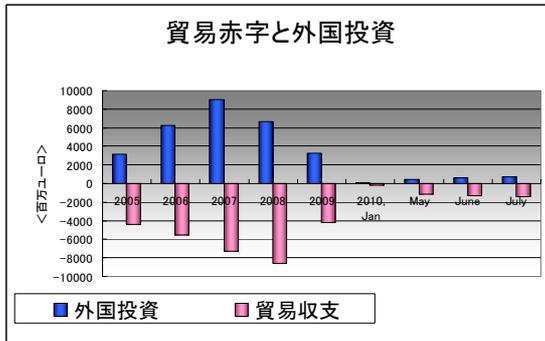
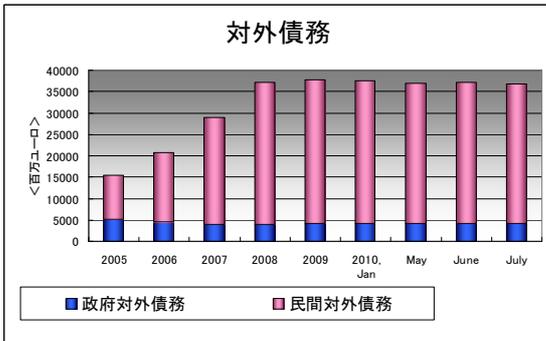
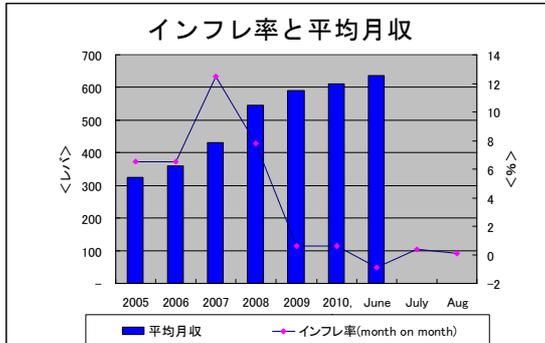
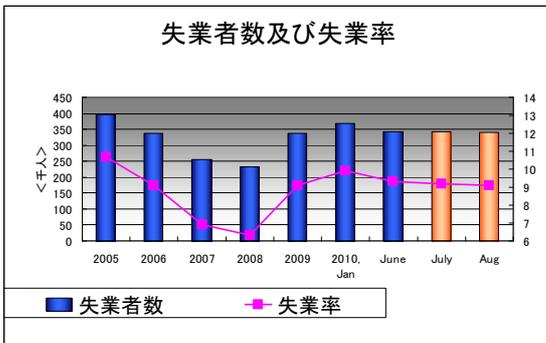
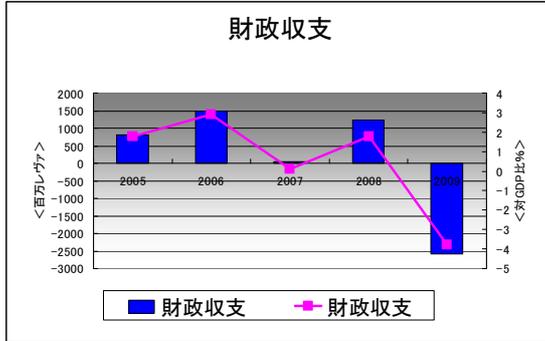
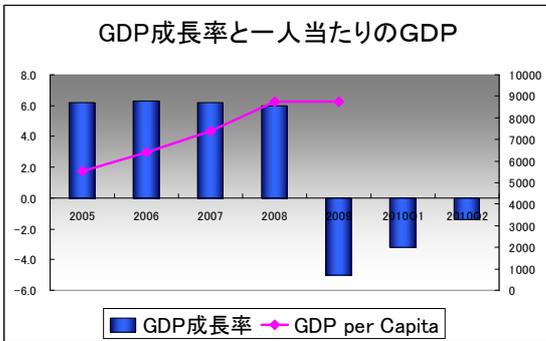
ブルガリア内政・外交の動き（9月）

在ブルガリア大使館

1（水）	●国民議会一般討論再開
2（木）	
3（金）	☆マリン副大統領：中国訪問（第6回北東アジア貿易投資 EXPO 出席～9日）
4（土）	
5（日）	☆アンゲロフ国防大臣：ポーランド訪問
6（月）	
7（火）	☆ドンチェフEU資金担当大臣：スイスと協カプログラム・フレームワーク協定に署名
8（水）	
9（木）	●ヴェルチェフ検事総長：組織犯罪審議のための特別法廷の創設を支持する旨国民議会で発言。
10（金）	
11（土）	
12（日）	
13（月）	☆ツァチェヴァ国民議会議長：ウクライナ訪問
14（火）	
15（水）	☆ディミトロフ元首相：グルジアEU大使に指名される
16（木）	☆ボリスフ首相：欧州人民党大会出席（ブリュッセル）
17（金）	
18（土）	☆ボリスフ首相：第65回国連総会出席（～24日）
19（日）	
20（月）	☆ツヴェタノフ副首相兼外相：エストニア訪問，国境管理・犯罪取締に関する協力協定に署名
21（火）	☆ボリスフ首相：バン・キムン国連事務総長と会談。 ☆仏・ブルガリア友好議連メンバー：ブルガリア国民議会を訪問
22（水）	☆ボリスフ首相：MDGs（ミレニアム開発目標）国連首脳会合出席
23（木）	☆ボリスフ首相：温家宝中国国務院総理と会談（於NY）。オバマ米大統領主催昼食会に参加。 ☆バセスク・ルーマニア大統領：ブルガリア訪問
24（金）	
25（土）	
26（日）	
27（月）	☆ツヴェタノフ副首相兼内相：ブリュッセル訪問
28（火）	☆ムラデノフ外相：国連一般討論演説
29（水）	●ボリスヴァ保健大臣辞任
30（木）	

ブルガリア経済指標（2010年9月）

出所：統計局、中銀、ソフィア証券取引所



ブルガリア主要経済指標(9月現在)

<GDP成長率と一人当たりのGDP>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010Q1	2010Q2
GDP成長率 (%)	6.2	6.3	6.2	6.0	-5.0	-3.2	-1.4
GDP per Capita (BGN)	5529	6411	7379	8753	8735		

<財政収支>

	2005	2006	2007	2008	2009
歳入 (million BGN)	808.7	1485	39.4	1223.6	-2569.9
財政収支 (% of GDP)	1.8	2.9	0.1	1.8	-3.8

<失業者数及び失業率>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010, Jan	2010, June	2010, July	2010, Aug
失業者数 (千人)	397	338	256	232	338	367	343	342	339
失業率 (%)	10.7	9.1	6.9	6.3	9.1	9.9	9.3	9.2	9.1

<インフレ率と平均月収>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010, Jan	2010, June	2010, July	2010, Aug
インフレ率 (%)	6.5	6.5	12.5	7.8	0.6	0.6	-0.9	0.4	0.1
平均月収の伸び(%)	324	360	431	545	591	611	636		

<対外債務>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010, Jan	2010, May	2010, June	2010, July
政府対外債務 (million EURO)	5197.6	4547.3	4092.3	3908.7	4172.5	4239.5	4283.5	4272.8	4217.5
民間対外債務 (million EURO)	10309.3	16143.6	24924.5	33203.7	33635.6	33225.5	32680	32895.5	32591.4

<貿易赤字と外国投資>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010, Jan	2010, May	2010, June	2010, July
外国投資 (million EURO)	3152	6222	9052	6686	3282	60	428	605	731
貿易収支 (million EURO)	-4410	-5562	-7245	-8597	-4174	-165	-1183	-1331	-1376
輸出 (million EURO)	9466.3	12011.9	13511.9	15203.8	11786.5	920	5431.6	6842.3	8343.4
輸入 (million EURO)	13876.1	17574.1	20757.2	23801.1	15889.2	1096.5	6614.6	8173.1	9719.8